

## 70歳にしてミシンに向かう日々

村田健吾 (S51年 電気)

関西支部幹事、会計担当の村田です。関西支部ホームページを閲覧頂きありがとうございます。

ここでは私が退職後、趣味として始めた事についてご紹介させていただきます。

私は長年に渡って鉄鋼関係の製造業に従事し、昨年69歳にて退職を致しました。退職に当たり何か趣味を持ちたいという思いがありました。そんな折、家内が自分の織った手織り布を山ほど見せてくれました。これでバッグを作ってみないかと勧められ、プロの縫製師だった母のことを思い出し取り組むことにしたのです。家内のミシンで、手織り布と帆布などを組み合わせバッグに仕立てますが、全く初めてでしたので型紙作りから縫製までYoutube動画などを参考にしました。

既に2年を経過しましたが、その間に手織りと古ジーンズのコラボ作品が定番となり、また作るだけでなくマルシェなどで販売するようにもなりました。材料費がだいぶかかりますが、やはり作ったものを使って評価を頂けることが作品作りのモチベーションとなります。

右の写真はトートバッグの一例ですが、前面に手織りの裂き織りを使い他の部位はジーンズ生地を用いています。最近では少しですが注文を受けるようになり、この作品もご高齢のご婦人からの注文で、大変気に入っておられました。



下の写真はショッピングモールのマルシェに出店した時の様子ですが、売れ行きこそ伸びませんが作品に関するご意見やアドバイスが頂け、レベルアップする上で大変良い機会となっています。

また3年目の今年はマルシェへの出店チラシ作成や、Instagramへの投稿などを通して趣味の幅を広げたいと思い、遅まきながらパソコン教室に通って勉強も始めました。



興味を持って頂けましたら下のQRコードからインスタを見てください。

これからも新しい作品に挑戦していきたいと思っています。デザインを考案し型紙を起し、そして縫製。モノづくりの工程は大変楽しいものです。

細かなところは拡大鏡も必要ですが、出来る限り続けていきたいと思っています。



以上